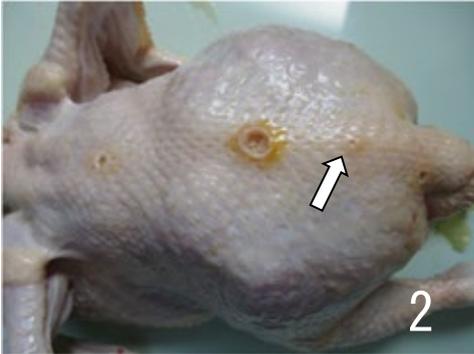
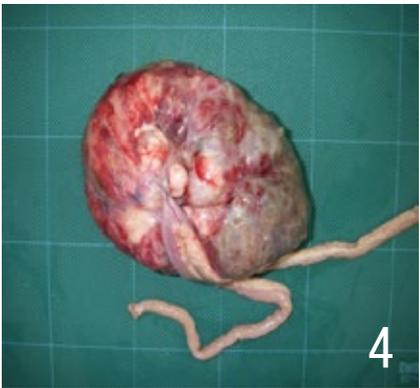
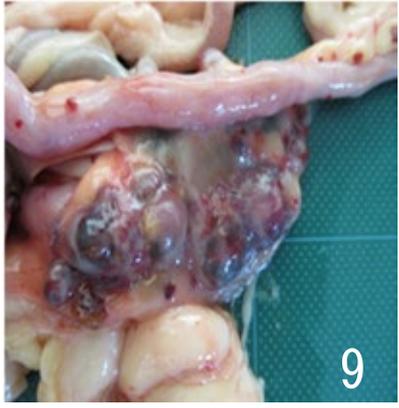
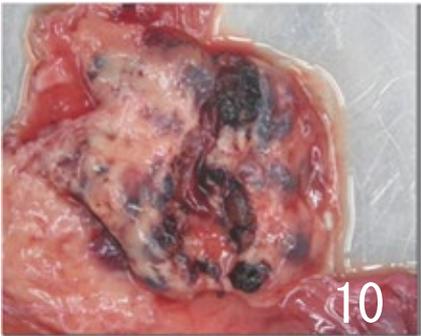


<p>疾病 (異常)</p>	<p>28 腫瘍</p>		
<p>肉眼 所見</p>	<p>1 皮膚の腫瘍 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥角化棘細胞腫が多くみられる。 ・背腰部、大腿部、胸部、翼部などの皮膚に、辺縁が隆起したクレーター状の潰瘍が散発あるいは多発する。 ・潰瘍は小円形ないし類円形、あるいは大型・不規則で融合性を示す場合もある。 </p> <p>2 腹腔の腫瘍 <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍として奇形腫、卵巣腺癌が比較的多く、前者は腫瘤型と嚢胞型に分類される。 ・皮下織や内部諸臓器の腫瘍では、血管腫、線維腫、平滑筋腫などがみられる。 </p>		
<p>廃棄等の根拠</p>	<p>別表第10又は別表第11</p>		
 <p>1</p>	 <p>2</p>	 <p>3</p>	
<p>鳥角化棘細胞腫：背部、肩部および大腿部の皮膚に辺縁が隆起したクレーター状の潰瘍病巣が多発している。</p>	<p>鳥角化棘細胞腫：背部にクレーター状の潰瘍病巣に加えて、結節病巣（矢印）も併存している。</p>	<p>腫瘤型奇形腫：筋胃と腺胃の漿膜に付着し、複数の球状腫瘍組織が癒合したような外観を呈している。</p>	
 <p>4</p>	 <p>5</p>	 <p>6</p>	
<p>腫瘤型奇形腫：被膜に包まれて種々の組織が混在している。</p>	<p>嚢胞型奇形腫：嚢胞内に漿液を満ち、嚢胞壁から多数の正羽が派生している。</p>	<p>卵巣腺癌：小指頭大に至る卵胞、白色、乳白色の腫瘍が多発している。</p>	

		
<p>卵巣腺癌:卵巣に充実性の腫瘍が形成され、表面に漿液を内包した球状構造物が多発している。</p>	<p>血管腫: 大小各種の血腫様構造物が肝臓の被膜下および実質内に多発している。</p>	<p>血管腫: 腸間膜および小腸漿膜に大小各種の血腫様構造物が多発している。</p>
		
<p>血管腫: 前胸部の皮下織に大小各種の血腫様構造物が多発し、水腫を伴っている。</p>	<p>線維腫: 腰背部の皮下織に増殖した腫瘍組織が外界に露出している。</p>	<p>線維腫: 腫瘍組織が肝臓の被膜から実質内に浸潤性に増殖している。</p>